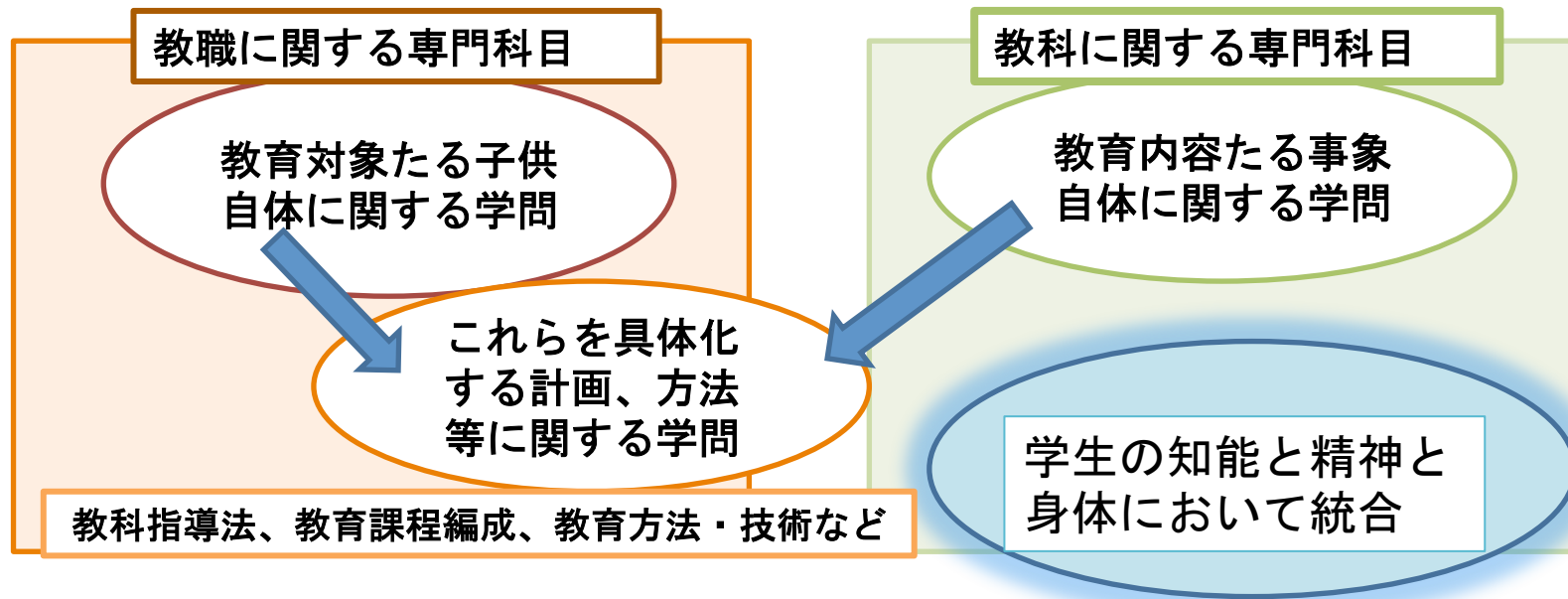


新たな教員養成教育と教育学研究をめざして

平成23年3月20日

国立教育政策研究所長 徳永 保

1 大学における教員養成教育の課題—とりわけ各教科の指導等に関する教職課程の専門科目構成の課題



1 教科に関する専門知識の指導の不揃い、過不足

2 以下のような各教科の指導等に関する専門科目の欠如あるいは不足

- 実技など専門知識を踏まえた学習指導方法に関する指導
- 学習指導要領に基づく主体的な教科のカリキュラム編成に関する指導
- 教科に関する専門知識と教育学、認知科学、心理学等の学習関連諸科学の活用による授業計画作成等に関する指導やその修得状況の確認

1) 実験、実技など専門知識を踏まえた学習指導方法に関する指導

- 理科の実験、体育実技などの指導には、教育学や認知科学、心理学等に基づく一般的な指導方法に加えて、専門知識を踏まえた指導方法が必要と思われるが、多くの場合、教職に関する専門科目の授業だけでは対応できない
- 理科の実験、小学校教員の体育実技などに関して専門知識を踏まえた指導方法に関する指導が不足
- 専門知識を踏まえた指導方法に関する研究や大学での指導方法とテキスト開発が不十分

(参考) お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンターの取り組み

— 教員養成学部、教育学サイドからではなく専門学部サイドからの試み

1) 小中学校の理科実験支援 (H22 小23校、中1校 200授業)

学級担任教員が主導的に実験を指導できるよう、当該担任教員との数度にわたる打ち合わせ、準備を経て、大学教員が実験を補助

2) 東京都北区のすべての教員を対象とした実験・観察を中心に理科の指導方法に関する研修

H20 「てこのはたらき」に関わる指導と教材・教具の工夫

H21 「電気のはたらき」に関わる指導と教材・教具の工夫

H22 身近な植物の観察及び継続観察に関わる指導と教材・教具の工夫

1-2) 教育課程編成や授業計画作成に関する指導の充実

- 今後の学校教育の在り方を考えると、教員養成においても
 - ① 学習指導要領に基づく主体的な教科のカリキュラム編成に関する指導
 - ② 教科に関する専門知識と教育学、認知科学、心理学等の学習関連科学の活用による学習指導計画作成に関する指導

の充実が必要

“新しい学び、新しい学校” のイメージ （徳永の私見）

○指導の基本 : 子供のそれまでの履修状況や内容の理解状況に応じた指導

習得状況、十分に理解した事項とそうでない事項それぞれの指導場面で用いた教材や指導案、教員とのやりとりの状況等をデータベース化し、それらを活用して指導を行っていくようなイメージ

○指導スタッフ: 子供の習得状況等に応じたきめ細かい指導と多様な学びの形態に対応する多彩で豊かな指導スタッフ

教育の専門家である教員と地域や専門分野のボランティアの協働のようなイメージ

○指導内容、指導の方法、学びの形態 : 次のようなイメージ

指導内容のモジュール化とそれぞれに応じた多様な提供

学級集団での一斉授業に加えて個別指導、あるいは学校内外の子供との交流など多様な学び

○マネジメント: 校長を中心に多様な教職員と地域住民や保護者が参画

2 各教科の指導等に関する教職課程の専門科目構成の再構築を目指す大学における様々な試み (以下の内容は徳永によるまとめ)

1) 島根大学 教育学部の専攻ごとに「教科内容構成研究」開設 (H16開設、18実施)

- ・ 趣旨： 教科専門科目と教科指導法の橋渡し
- ・ 内容： 教育内容たる事象自体に関する学問が学校教育でどのように再構成、教授されているか、またどのように再構成、教授されるべきかを研究教育する
- ・ 履修： 教科に応じて5～8単位を必修（教科又は教職に関する科目として）
- ・ 指導教員： 教科専門科目と教科指導法担当教員によるチームティーチング

2) 広島大学 教員養成拡大スタンダードと教科指導法関連授業科目の充実など (H22から)

趣旨： 教職科目の履修による単位の積み上げから教員として必要な資質や能力の修得へ

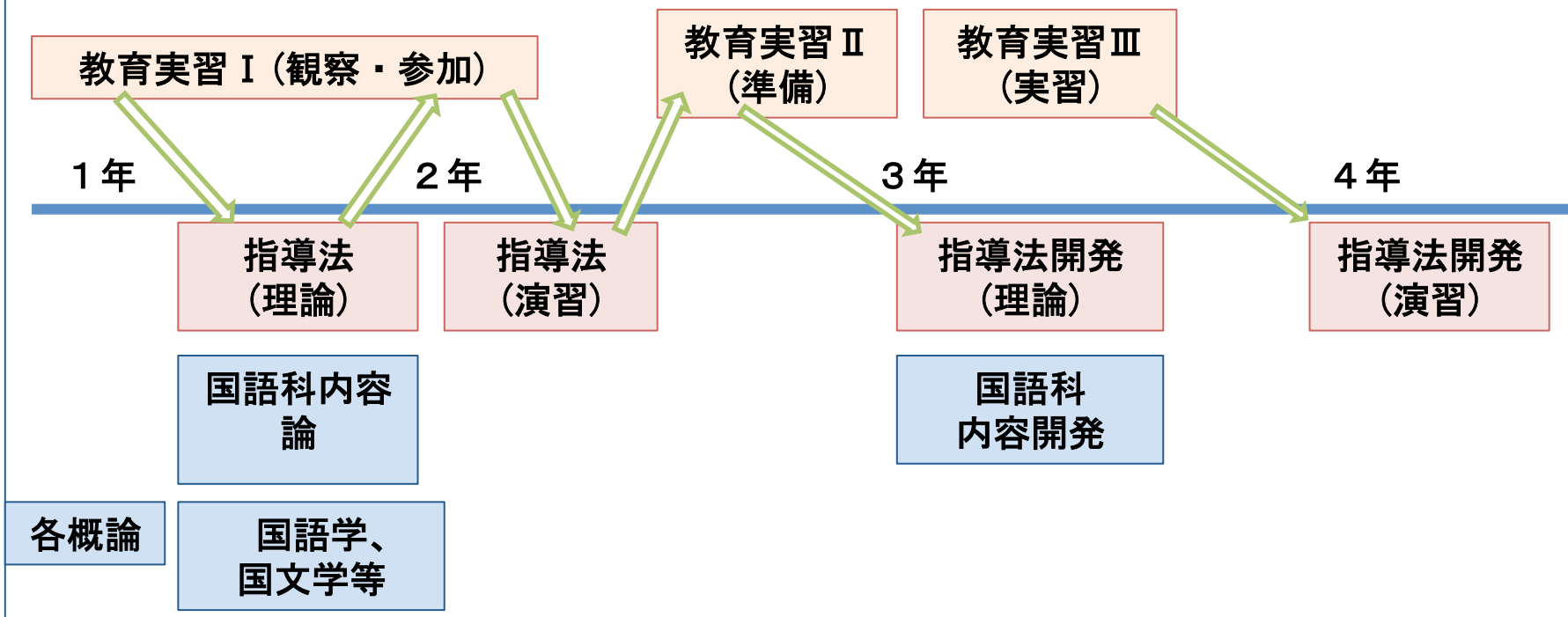
内容：① 8項目からなる資質能力の基準を定め、各資質能力項目とそれぞれの修得を担う授業科目を対応させ、授業科目の内容をそれらに応じたものとする

② 教科指導法に関するものとして従来の授業科目に加えて、〇〇教育カリキュラム論、〇〇授業プランニング論等を開設

③ 教科専門科目として〇〇教材構成論を開設し、教育学バックグラウンドの教員が担当

3) 岡山大学 教科専門科目と教科指導法と教育実習による体系的なプログラムの実施 (H22から)

教科専門科目として、専門分野に関する各論と別に、「教科内容論」、「教科内容開発」を開設



国立教育政策研究所の平成23年度の最重点プロジェクト研究の一環として
大学における各教科の指導等に関する教職課程の専門科目構成の再構築を
目指す試みを把握、分析する予定

3 各教科の指導等に関する教職課程の専門科目構成の提案

教科に関する専門知識の指導の不揃い、過不足

学習指導要領を踏まえた必要にして十分な専門知識の修得

- ① 専門分野の概説や学問を構成している原理を、学習指導要領に沿って教授し、必要な専門知識の修得状況を確認
- ② 学習指導要領の内容単元毎の教育プラン計画 → 必要に応じて専門知識を補完する授業を選択履修

実技など専門知識を踏まえた指導方法に関する指導の不足

必要な授業科目の開設

教科に関する専門知識と学習関連諸科学の活用による授業計画作成等に関する指導の不足

教科の専門性を踏まえた主体的な教科のカリキュラム編成に関する指導の不足

“新しい学び、新しい学校”
を見据えて質量共に充実

隘路 : 専門知識を踏まえた学習指導方法などに関する研究の不足
研究成果を踏まえた教育を行うための時間と担当教員の確保

4 学習指導方法などに関する実践的な研究の推進の提案

○ 教員養成を主目的とする学部等で“研究”と言えは

I 教科専門科目など教育内容たる事象自体に関する研究

II 教育対象たる人間や子供に関する研究
社会の中での教育や学校の意義やその取り扱いに関する研究



○ 往々にして、(Iの)研究か(教員養成)教育か、など二元的な見方に陥りがち



○ 次のような課題についての実践的、実証的な研究を推進

教科に関する専門知識と学習関連諸科学の活用による授業計画作成

専門知識を踏まえた学習指導方法

履修状況や内容の理解状況に応じた学習指導方法

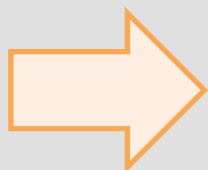
習得状況等に応じたきめ細かい指導と多様な学びの形態に対応する多彩
指導スタッフの活用方法



研究体制・スタッフの拠点的整備、競争的な研究資金の投入

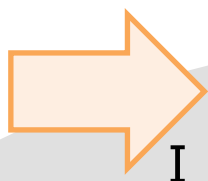
5 新たな教員養成とその基盤となる研究推進のための制度改革提案

時間



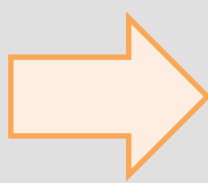
大学院を養成の段階として位置付けるなどにより養成期間を延長

研究



I
教科の専門知識に加えて教科の指導法について知識・技術・経験等を有する教員からなる研究組織と指導体制を大学院に拠点的に形成

担当教員



II
教科専門科目と教職専門科目に加えて「教科課程の構成専門科目」という教職課程上の新しい範疇を導入し、当該専門科目群についての担当教員の認定基準を別途に設ける

6 教員養成に重点を置く大学と当該担当学部への期待

東アジア経済の一体的発展を見据えた就業力育成

我が国の大学が全体として対応を求められている課題

国際的な競争の中での学部・大学院を通じた教育の質の保証

機能別分化とこれを補完する大学間ネットワークの形成

資源重点投入機能・分野の選択、共同利用化等による強化

非重点投入機能・分野についての他大学へ依拠する等の措置

大学の経営基盤の強化

入学定員と教育プログラムの転換・縮小、他大学との連携・共同

教員養成に重点的に資源を投入する大学と当該担当学部

教科の専門知識に加えて教科の指導法にも知識・技術・経験等を有する教員体制の整備

学習指導法等に関する実践的な研究開発拠点

教科課程の構成に関する専門科目を中核として教員養成を担う拠点的な大学院

他学部と他大学の教職課程の学生の教職実践演習を担うセンター